

プログラム番号	06078
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	国立大学法人熊本大学・大学院自然科学研究科		
②学長名	崎元 達郎		
③所在地	〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	大学院自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センター・講師	
	担当者氏名	岸田 光代	e-mailアドレス mkishida@gpo.kumamoto-u.ac.jp
	電話・FAX番号	(096) 342-3020・FAX(096) 342-3010	
⑤ホームページ URL	<a href="http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/index_en.html">http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/index_en.html</a>		
⑥大学院在学留学生数	198人(うち、国費留学生 67人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	科学技術分野での国際共同教育プログラム
②プログラムの形態	博士前期課程+博士後期課程(2+3年間)
③実施研究科・専攻	大学院自然科学研究科
	(所在地) 〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1
④連携大学・研究科・専攻名	博士前期課程(8専攻) 理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命科学専攻 マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、社会環境工学専攻 情報電気電子工学専攻、建築学専攻 博士後期課程(5専攻) 理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻 情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻
⑤受入れ学生数	博士前期課程 15人(うち研究留学生優先配置人数:2人) 博士後期課程 15人(うち研究留学生優先配置人数:4人) (うち日本人学生数:各5人)
⑥担当教員数	合計 224人(うち専任:205人、兼担:19人、非常勤:0人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 大学院自然科学研究科・教授
	研究科長名 松本 泰道

### 【3. プログラムの内容】

#### 開設の目的：

本学大学院自然科学研究科は、「国際的に魅力ある大学院」となることをその大きな目標として、平成18年4月からの改組により教育プログラムの大幅な改革を実施している。新設された科目群の中でも、博士前期課程および博士後期課程の学生に対して同時開講となる「プロジェクトゼミナール」および「先端科学特別講義」には、本研究科が目指している英語を共通言語とする国際的な大学院教育の特徴が現れている。すなわち、本研究科に所属する外国人留学生を含むすべての学生に対して本研究科教員、交流協定を締結している海外大学教員、企業技術者などによる英語を共通言語とした共同教育ならびに研究指導が実施される。

大学院教育の国際的通用性を高めるためのこうした取り組みに先立ち、本研究科では平成12年度に「英語による大学院特別コース」を設置し、このコースに在籍するすべての外国人留学生に対し英語による教育と研究指導を実施してきた。本研究科における教育の国際化をさらに推し進めるために、この「英語による大学院特別コース」を発展解消し、新たに「科学技術分野での国際共同教育プログラム」を開設する。本プログラムは、「プロジェクトゼミナール」、「先端科学特別講義」に併せてその他の一般専門教育科目をその開講科目とし、教員や学生の相互交流を含む海外の大学との連携も視野に入れた英語による国際共同教育プログラムである。科学技術分野での大学院教育の国際化を進める上で、英語による教育・研究指導の標準化は必要不可欠であり、本研究科全体の教育の国際化を推し進める上でも、本プログラムでの英語による国際共同教育の果たす役割は極めて重要である。

#### 内容および特徴：

本研究科では、国内他大学院、企業、海外協定校との連携による科学技術分野での共同教育を推進するために、平成19年4月に「総合科学技術共同教育センター」を設置することを決定している。当該センターは、図にも示されているように、おおきく国内共同教育部門と国際共同教育部門の二つの部門により構成されている。そのうち国際共同教育部門が、国際共同教育プログラムでの英語による教育・研究指導を提供するための責任部門となる。本部門では、海外協定校教員を客員教員として招へいし、本研究科教員と共同で、本プログラムに所属する学生のみならず研究科所属の全学生に対して英語による共同教育を推し進めるとともに、本研究科における教育の国際性を高めるために英語による教育・研究指導の標準化を目指している。

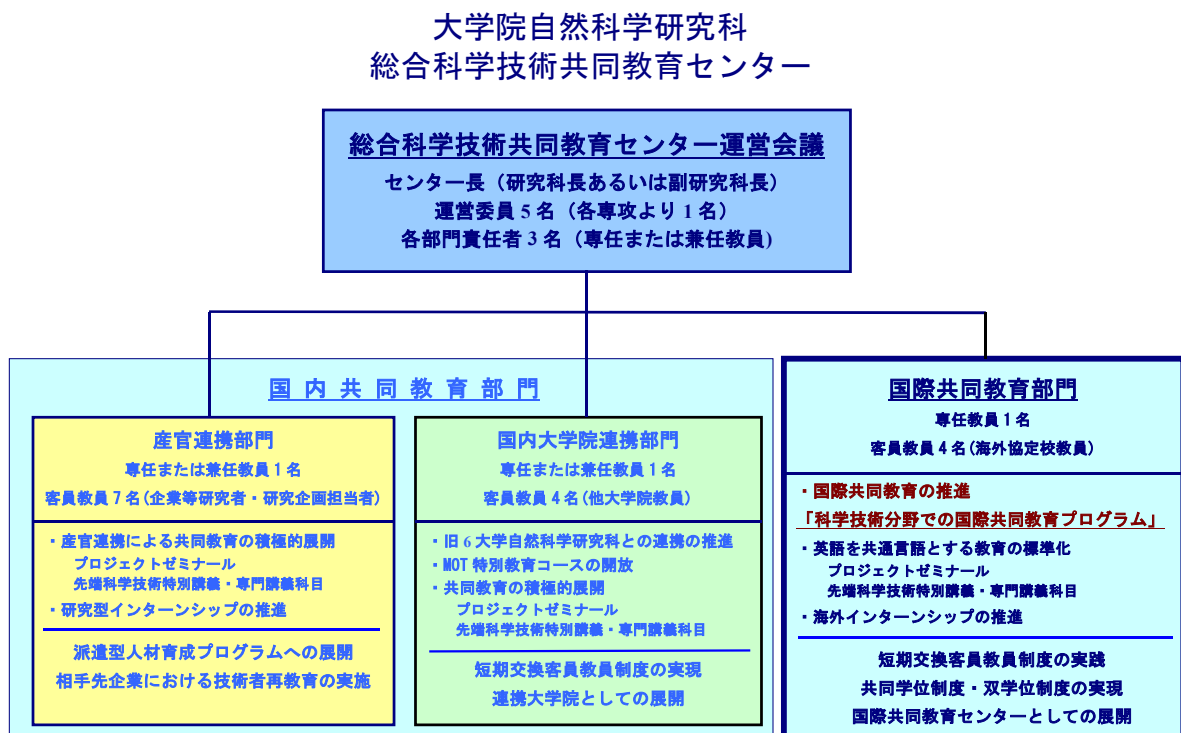


図 1. 総合科学技術共同教育センターの構成とその役割

国際共同教育部門での教育実施体制を図2に示す。本研究科には博士前期課程8専攻、博士後期課程5専攻が設置されている。本プログラムにおいて教育・研究指導を受ける学生は、いずれの専攻も選択でき、希望する専攻において英語による教育・研究指導を受けることになる。すなわち、下図に示されるように、本プログラムの学生に対しては、本学と連携を持つ海外の協定校や、共同研究等のパートナーシップをもつ海外の大学・国内企業等から幅広く専門家を教員として招へいし、国籍を異にする教員と学生の間ですでに英語による講義が実施されている「プロジェクトゼミナール」、「先端科学特別講義」に併せて一般の専門教育科目に対しても英語による教育が提供される。

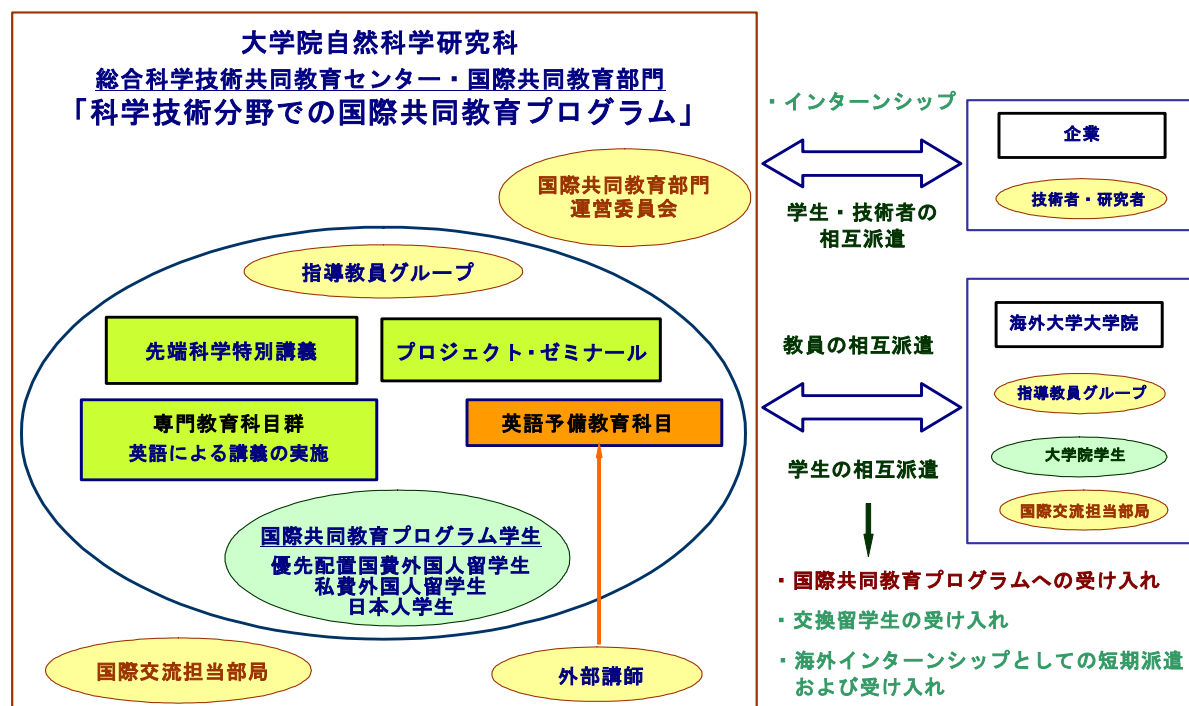


図2. 国際共同教育部門での英語による教育実施体制

本コースに所属する学生の受講科目の選択に資するため、一般専門教育科目は、講義の形式により以下の三つのカテゴリーに類別し、学生に周知するものとする。

表：一般専門教育科目の講義形式による分類

カテゴリーI	テキストおよび資料は英語、講義に使用する言語は日本語
カテゴリーII	テキストおよび資料は英語、講義に使用する言語は日本語および英語
カテゴリーIII	テキスト、資料および講義に使用する言語はすべて英語

#### 学生募集および学生選抜：

外国人留学生募集案内などの広報活動は国際共同教育部門を中心として実施し、外国人留学生募集のための英文募集要項、英文応募書類などは海外協定校へ送付するとともに、本研究科英文ホームページにて公表する。本プログラムでの学位取得を希望する外国人留学生の選抜には、その所属する（または修了した）大学あるいは大学院での成績、英語能力を証明するTOEFL等の成績、志望理由書や推薦書の記載内容、さらに本人が希望する専攻の教員3名によるEメールでのインタビューなど、総合的な評価が使用される。なお、本プログラムでの学位取得を希望する外国人留学生に対して、優秀な学生は国費外国人留学生（研究留学生）として推薦する他、本研究科独自の奨学制度による支援をおこなう。

また、本プログラムでは、協定校以外の大学からの優秀な外国人留学生の受入れも望むところであり、本研究科の英文ホームページ、個々の教員による広報活動を通して、広く外国人留学生の公募に努め、より多くの応募者の中から優れた学生を選抜したいと考えている。